



※学-Viva：「Viva」は、「生きる」という動詞から生まれた言葉です。三重の「学び場」が生きていくイメージで名付けました。

「授業改善サイクル支援ネット」の運用を開始しました！ ～ 活用したいワークシートが簡単に見つかります ～

三重県教育委員会では、全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェック等の自校採点集計結果等を速やかに提供し、早期からの授業改善のPDCAサイクルの確立を促進しています。また、全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックから明らかになった課題に対応したワークシートを提供し、児童生徒一人ひとりの達成感に結びつけ、学習意欲の向上を図るため、平成28年12月より「授業改善サイクル支援ネット」の運用を開始しました。



- ① インターネットブラウザに URL (<https://mie-gakuryoku.jp/>) を入力
- ② 認証用のユーザー名とパスワードを入力して、OK ボタンをクリック
- ③ ユーザーID とパスワードを入力して、ログインボタンをクリック

サイトの 内容

- * 全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック自校採点結果の集計、結果提供
- * 研修会等のアンケート集約、結果提供
- * みえスタディ・チェック過去問等の教材配信
- * 学力向上にかかる情報の発信
- * **ワークシートの配信**

Let's
Click!



●● より多くの先生方に活用していただけるよう「ワークシート検索機能」をつけました ●●

- ④ 「ワークシート・問題ダウンロード」をクリック
→ ダウンロードできるワークシート等が一覧表示されます
- ⑤ **ワークシート検索機能**...
 - ・名称などで検索
 - ・年度、学校区分、教科などで絞り込み
- ⑥ ダウンロードボタンをクリックして、ファイルをダウンロード



＊ これまで、「思うようなワークシートが見つからない」と感じられていた先生方、ぜひ利用してみてください！

＊ 操作等の詳細は、平成28年12月20日付け送付文書「授業改善サイクル支援ネットの運用開始について」及び操作説明用 CD-ROM をご確認ください。

今後の スケジュール (予定)

1月24日	授業改善研修会（中学校 国語）開催		
2月 1日	第2回 みえスタディ・チェック実施	小5 国語、算数 中2 国語、数学	自校採点 ↓ 分析 活用・改善 ↓
中旬	学-Viva (まなびば) セット 第7弾配信		
3月	第2回 みえスタディ・チェック結果分析 みえの子どもたちの課題に対応した新ワークシート配信		
4月18日	平成29年度 全国学力・学習状況調査	小6 国語、算数 中3 国語、数学	
	第1回 みえスタディ・チェック実施	小4・5 国語、算数、理科 中1・2 国語、数学、理科	



学力向上 に向けた

具体的な実践事例

【事例23】紀北町立紀北中学校

～一人ひとりが主役の学校づくりが「確かな学力」を育む～

紀北中学校では、平成27年度から数学科・英語科で「習熟度別少人数指導」を積極的に取り入れ、生徒にきめ細かい指導支援が行える体制をつくり、「一人ひとりが主人公である授業づくり」を進めています。授業づくりを中心にQ Uを活用し、落ち着いた学習に向かえる居心地の良い集団づくりや、プロセスを大切に互いを認め合うことができる学校行事等に取り組んでいます。

また、メディアセンター(学校図書館)を活用した読書活動や防災学習等にも取り組み、保護者や地域との連携や小中連携を深めながら、生徒が成長できる場をつくり、自己肯定感を育てています。

習熟度別少人数指導の取組

生徒の学びを重視したきめ細かな指導体制

コース編成

- 1年生 } 英語科・数学科で各学級を習熟度別で2分割編成
- 2年生 }
- 3年生 } 数学科で各学級を習熟度別で2分割編成

- ◆ 1年生は1学期中間テストまでは一斉授業を実施し、生徒の実態を把握する。
- ◆ 学級担任と教科担任のアドバイスをもとに、原則、**生徒と保護者の希望でコースを決定**する。
- ◆ 学期ごとにコースを編成する。

のびのびコース

人数：学級の1/3程度
場所：少人数教室

- 教科書の内容を中心に、**基礎基本の力**をつけることに重点を置く



ぐんぐんコース

人数：学級の2/3程度
場所：教室

- 発展的な問題にもチャレンジし、**学術的な思考の育成**に重点を置く



授業づくりの 確認

- **めあての提示、振り返る活動**を行い、学習意欲を高め、学習内容の理解を深める。
- ペア・グループ学習では、分からない生徒が「教えて」と言えて、聞かれた生徒が分かるまで教える**主体的に学び合う学習集団づくり**を行う。考えを聴き合うこと、一人ひとりが説明できるようになることなど、言語活動を充実させる。

生徒の様子

- * 活躍する場面が増え、自信がついている。
- * 授業後の達成感につながる前向きな姿勢がみられる。

- * 授業で取り組む問題の量が増えている。
- * グループ学習において生徒たち自身で課題解決をしている。



教員の声

- * どちらのコースも少人数であるため、机間指導がしやすく、より丁寧な指導が行える。
- * 生徒の実態に合わせた導入や授業のねらいをしっかりと指導が行える。



成果

4月に実施したみえスタディ・チェックを7月にもう一度実施・検証！

(平均正答率の変化)

- * **のびのびコース** 13.2 ㊦ UP!
- * **ぐんぐんコース** 6.1 ㊦ UP!
- * **全体** 8.4 ㊦ UP!

アンケート調査による検証(10月調査の結果)

生徒アンケートより (肯定回答率)	のびのびコース	ぐんぐんコース
◆ 授業は楽しいですか。	100%	87.3%
◆ 授業内容は理解できますか。	100%	95.7%
保護者アンケートより (肯定回答率)		
◆ お子様は習熟度別コースで授業を受ける方がいいですか。	100%	80%

● H28年度全国学力・学習状況調査 生徒質問紙 数学に関する項目より (H27年度との比較)

数学ができるようになりたいと思いますか。	4.3 ㊦ UP!	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	1.1 ㊦ UP!
数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。	3.9 ㊦ UP!	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	13.0 ㊦ UP!
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。	13.2 ㊦ UP!	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか。	10.5 ㊦ UP!

課題

- コース選択の判断が難しい層の生徒たちがいる。保護者も判断に迷うことがある。
- 学期の途中で単元の内容により、コースの変更が必要な場合がある。

●●●●●●●● 紀北町立紀北中学校長からのコメント ●●●●●●●●

本校では、授業だけでなく、学校行事等の様々な活動をとおして「生徒一人ひとりが主役になる」ことを目標に学校づくりを進めています。そのため、学級集団づくりに力を入れながら生徒一人ひとりが主役になる場面を創り出し、主体的に一生懸命取り組むことを大切にしています。また、互いに努力を認め合い、協力し合うことで、人と人との「つながり」が深まると考えています。

授業を含めた様々な体験が深化・統合され、その土壌の上に「確かな学力」の大きな花が咲くことを目指し、教職員が一丸となり日々の教育実践に励んでいます。



小学校理科

【講師：文部科学省 学力調査官・教育課程調査官 山中 謙司】

「中教審の動向からみる理科授業づくりの方向性」

★ アクティブ・ラーニング ★

～ 深い学びの過程 ～

◆ 理科の学習では、自然の事物・現象について、「理科の見方・考え方」を働かせて、探究の過程を通して学ぶことにより、資質・能力を獲得するとともに、「見方・考え方」も成長する。さらに、獲得した資質・能力や成長した「見方・考え方」を次の学習や日常生活などにおける問題発見・解決に活用する。

例えば

自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって課題や仮説の設定や観察・実験の計画を立案するなど課題解決に向けて科学的に考える学習場面や、学習の過程を振り返って変容を自覚する学習場面を設けること。

～ 主体的な学びの過程 ～

◆ 理科において「主体的な学び」を実現していくためには・・・

例えば

- ① 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって課題や仮説の設定や観察・実験の計画を立案するなどの学習場面を設けること
- ② 観察・実験の結果を分析・解釈して仮説の妥当性を検討したり、全体を振り返って改善策を考えたりする学習場面を設けること
- ③ 得られた知識や技能を基に、次の課題を発見したり、新たな視点で自然の事物・現象を把握したりする学習場面を設けること
などが考えられる。

～ 対話的な学びの過程 ～

◆ 理科において「対話的な学び」を実現していくためには・・・

例えば

課題の設定や検証計画の立案、観察・実験の結果の処理、考察・推論する場面などでは、あらかじめ個人で考え、その後、意見交換したり、議論したりして、自分の考えをより妥当なものにする学習場面を設けることなどが考えられる。

* 受講者の声 *

今後の理科の授業の組み立て方について、大事にすべき点を分かり易く教えていただきました。また、アクティブ・ラーニングに関してどう取り組んでいくのかを具体的に教えていただいて大変良かったです。

小学校算数

【講師：文部科学省 学力調査官・教育課程調査官 笠井 健一】

「算数科における思考力・判断力・表現力等の育成と言語活動の充実」

★ 新学習指導要領 小学校算数科の改訂のポイント ★

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着のため、発達や学年の段階に応じたスパイラルによる指導の充実。
- (2) 国際的な通用性、内容の系統性の確保や小・中学校の学習の円滑な接続等の観点から必要な指導内容の充実。
- (3) 学ぶことの意義や有用性を実感できるよう、数量や図形についての知識・技能を実際の場面で活用する活動などの「算数的活動」を指導内容として学習指導要領に規定。
- (4) 言語活動の充実の観点から、新設の[算数的活動]において、「言葉、数、式、図を用いて考え、説明する活動」、「目的に応じて表やグラフを選び、活用する活動」などを規定。

* 受講者の声 *

・習熟度別授業を実際に見せていただけて、それぞれの児童の実態に合った指導をされていると感じました。特に、算数が苦手な子どもたちにとっては、具体物を使って自分で操作し考える時間が長くて、とても良いと思いました。
・その時間ごとに何の力を身に付けたいか、何が出来るようになったら良いのかをもっと焦点化して着実に力を付けていくことが大切であると分かりました。

★ 算数科における新しい評価の観点とその趣旨 ★

観点	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
趣旨	数理的な事象に関心をもちるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする。	日常の事象を数理的にとらえ、見通しをもち筋道立てて考え表現したり、そのことから考えを深めたりするなど、数学的な考え方の基礎を身に付けている。	数量や図形についての数学的な表現や処理にかかわる技能を身に付けている。	数量や図形についての豊かな感覚をもち、それらの意味や性質などについて理解している。

★ 縦のつながり（第 1 学年～第 6 学年）で自主的な学びを促進 鳥羽市立安楽島小学校

学年末（2～3 月）に実施している「漢字ピック（校内漢字検定）」では、現学年の漢字を 90%以上身に付けた児童に認定証を与え、合格できるまで放課後の補充学習時間等で繰り返しチャレンジさせています。「漢字ピック」実施前には、縦割り班活動で学習会を行い、児童が自ら進んで意欲的に学習に取り組むことができるようにしています。



★ 授業規律の確立 松阪市立粥見小学校

「学習のやくそく」

→ 全校で統一した学習規律を全学年の教室に掲示。

学校全体で大切にすべき学習規律で、児童への声かけをきめ細かにするところから始めました。学習準備・姿勢については、多くの児童が身に付け、授業スタイルとともに一貫した取組になりました。

学習のやくそく
 ◎できたかな？休けい前の学習準備
 ◎時計をみて、1分前にきちんと着席
 ◎「はい！」と返事、立って発表
 ◎はじめとおわりに、よいあいさつ
 ◎せなかは「ピン」とよいしせい
 ◎めざせ！わすれもの 0（ゼロ）！

★ ボランティアの支援活動～百合小学習支援「ほめほめ隊」～ 名張市立百合が丘小学校

日常的に学校を支援してくださっているボランティアの青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会教育文化部の中に、40 名程度の百合小学習支援「ほめほめ隊」を位置付けて、教科学習、家庭科・図画工作科などの実習、総合的な学習の時間の体験学習の支援をいただいています。授業ごとの学習支援をするに当たっては、同じ学級、同じ教科に入っただくことで、学級の雰囲気や個人の課題が的確に把握でき、継続的な支援をしてもらっています。

ほめほめ隊の支援のポイント

- ・ 支援を必要とする児童や配慮を必要とする児童など、児童の現状について担任と綿密な打合せを行う。
 → 個に応じた支援（自己有用感を高める働きかけ）や声かけ（褒める、励ます、担任の復唱など）
- ・ 担任との打合せを通して授業の流れを把握し、スムーズな授業展開につながるような支援を行う。
 → 担任の授業の流れに沿った支援、担任のアシスタント
- ・ 守秘義務の徹底
 → 児童・教師の信頼感



★ 家庭学習の習慣化に向けて 伊勢市立城田中学校

「学習計画表」の全校統一様式を独自に作成、活用

- ・ 年間 6 回の定期テストに加えて、実力テスト、春・夏・冬の長期休業でも実施し、習慣化を図る
- ・ 担任が取組状況を確認し、生徒に応じて時間設定や学び方の工夫等についてきめ細かくコメントを記入
 → 家庭学習の量だけでなく、質の改善も図る
- ・ 良い計画や実践、生徒の反省、保護者のコメント等を学級通信で紹介 → 好事例の広がり

* 「学習計画表」（全校統一様式）A3 サイズ見開き *

【表紙】 【裏表紙】

- テーマ
 (例 ～夏休みの学習成果を発揮せよ！不得意教科・不得意分野の克服ができたか？～)
- 学校確認欄
 * 計画段階、中間、最終で 3 回提出し、各担任が確認
- 教科ごとのテスト範囲、提出物・提出期限、テストの時間割を示す

【1 ページ目】

- 生活目標、学習目標
- 平日の予定・休日の予定
 * 1 日のタイムスケジュールを帯グラフ状に色分け
- 学習の予定・当日実際にできた主な学習内容
 * 1 日単位で、学習予定と実際に行った学習内容を記入



【2 ページ目】

- 平日の家庭学習を始める時刻、夜寝る時刻、朝起きる時刻
- がんばること、がまんすること
- 1 週間の目標学習時間、休みの日の目標学習時間、テストまでの総目標学習時間
- 実施期間中、毎日の学習時間（実績）
 * 実施期間中 2 回、保護者確認印
- 実施期間中の総学習時間（実績）
- 反省
 * 生徒が、生活面・学習面を振り返って文章で記入
- 保護者の方より
 * 保護者が、生徒へのメッセージを記入